

松前藩屋敷



あなたもいにしへの町並みで「体験」しませんか!!

松前藩屋敷では、訪れた皆様方の旅の思い出になればと、地元産品を活用した「体験学習」を行っております。体験メニューは下記のとおりです。

松前藩屋敷体験学習メニュー

体験メニュー	時期	受け入れ可能人数	料金
申着付体験	5月	30人まで	1,000円~2,000円
	10月		
松前漬づくり		30人まで	1,500円

※いずれも4名以上の場合は松前藩屋敷(☎0139-43-2439)へ事前予約が必要です。
 ※上記人数を超える場合は、松前藩屋敷へお問い合わせ下さい。
 ※別途入館料が必要です。

「ガイドのご案内」

【松前藩屋敷ガイド】 期間4月~11月

北前船の交易で栄えた江戸時代の松前のお宿をご案内

料金 お一人様1,000円

時間 おおよそ30分~45分

※2日前までに予約、2名以上で催行します。



ようこそ
松前藩屋敷へ

藩屋敷入館料金

	一般	団体(10人以上)
大人	360円	290円
小人(小中学生)	240円	190円

※小学生未満のお子様は無料です。

小会議室使用料	9人以下	2,300円
	10人以上	3,500円

開館時間および期間

開館時間 午前9時~午後5時(最終入館 午後4時30分)

開館期間 4月上旬~11月上旬まで(期間中無休)

松前藩屋敷

〒049-1507 北海道松前郡松前町字西館68 ☎0139-43-2439

松前観光協会

☎0139-42-2726 FAX0139-42-4333

ホームページ <http://www.e-matsumae.com/sakurakk/>

松前藩。栄華を誇る城下町を今に再現!!

松前の春は江戸にもない

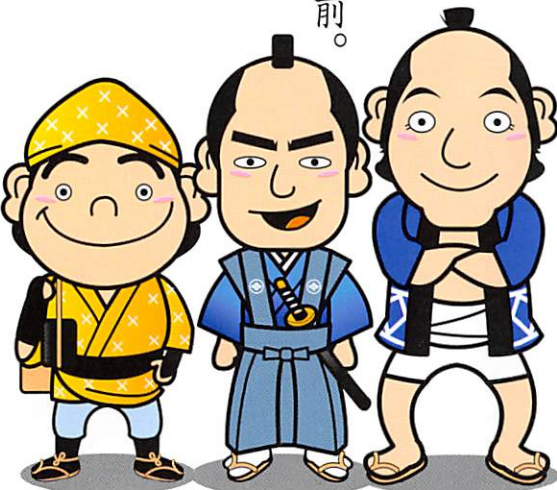
幕末には八千戸、三万人の人口があり、

仙台以北最大の都市といわれた最北の城下町・松前。

北前船が走る海の道を、産物や文化が行き来し、北の辺地に豊かで華やかな町が生まれたのです。

その「松前」を再現した建物は全部で十四棟。

江戸時代へのタイムスリップをお楽しみ下さい。





① 沖の口奉行所

蝦夷地に出入りする船・荷・人などをあらため、徴税する役所。蝦夷地に入ろうとする者は、お白洲で裸にされ、刀傷や入れ墨がないか等を調べられました。



② 商家 (近江屋)

松前城下には近江商人や北陸地方の商人が多く住んでいました。彼らは北前船が運ぶ荷や、蝦夷地各地の場所請負人となることで、財を築きました。



③ 商家土蔵 (民芸松前杉)

日本最北の城下町、北海道松前町の藩屋敷内商家土蔵にある「松前杉」を使った民芸品等の直売店です。土間の昔懐かしい空間でお客様をお迎えいたします。店主は歴史指南で松前の歴史を語ってくれます。



④ 髪結

現在の床屋。当時マゲを結うのは専門の職人でなければ難しかったのです。店には待合室があり、社交場の役目も果たしました。



⑤ 民家

庶民の生活は、せいぜい2間程度の棟割長屋がほとんどでした。屋根は桧葺の質素なものです。



⑥ 漁家

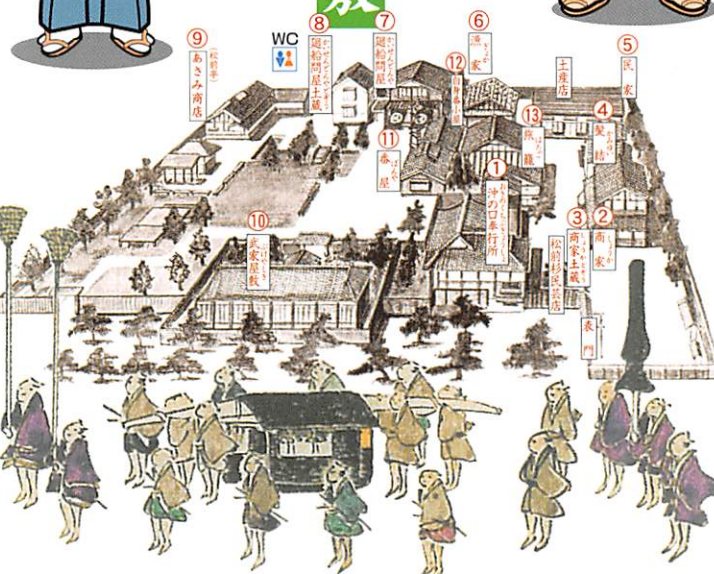
松前の中流の漁家を再現したものです。漁家は磯舟か保津船を持ち、2、3人の出稼者を使いにしん漁に従事していました。



表門をくぐるとそこはもう江戸時代のたたずまい、松前藩時代の歴史の面影を、実際に体験できます。

松前藩屋敷

「松前の五月は江戸にもない」とうたわれた松前の栄華を再現する「松前藩屋敷」



⑦ 廻船問屋 (敦賀屋)

松前は交易で栄えた藩。当時10~15軒の問屋があり、昆布など蝦夷地の産物や、松前の生活物資など、北前船の荷がここで上げ降ろされました。

⑧ 廻船土蔵



⑨ あさみ商店

松前藩屋敷内の一店舗として、松前漬けを中心とした海産珍味店です。頑固親父と肝っ玉母さんが造る松前漬けは昔なつかしい味と評判です。中には休憩所もございますので、お気軽にお立ち寄りください。



⑩ 武家屋敷

松前藩士最末席の士分の御先手組席。(110石高)家臣の屋敷を再現したものです。士分は、武家門、武者屏に囲まれた広大な屋敷を構えていました。



⑪ 番屋

蝦夷地の特産物にしん。3月から5月の漁期にはたくさんのお出稼ぎ漁夫が松前を訪れ、番屋で寝泊まりしました。群衆の時には、寝る暇もなく、立ったまま食事したそうです。



⑫ 自身番小屋

海岸で風の強い松前は火事が大敵。自身番小屋は、本来は交番の役割のものです。松前市街では火の見番所でした。夜は拍子木をたたいて町内をふれて歩きました。



⑬ 旅籠 (越後屋)

今でいう旅館のことです。入り口を入ると帳場があり、これに多くの客室が続いていました。

